友愛
行所
友愛青年同志会
東京都文京区音羽 1-7-1
電話 東京（941）2801
編集兼発行人 斉藤 実
定 価 1部 10円

変化に則した時代感覚を

文化講演会いよいよスタート

本会事業の主柱である友愛文化講演会は、"現代社会における青年の役割"を主テーマとし、情報社会の荒手としての青年が現在社会を主体的に生きつゝ道標を示そうとするものである。

意欲あふれる文化講演会は八月二十日、静岡県三島市鈴木柴蓬学園において、講師に評論家の戸川猪佐武先生、日本大学教授大瀧利男先生を迎えて歴史的スタートが切られた。二十二日は静岡市日生ホールにおいて、大瀧利男先生、国民政治研究会研究主任竹内啓先生。二十三日は愛知県小牧市公民館において、評論家菅原通済先生、日本大学教授中山政矢先生、評論家上坂冬子先生を迎えて開催された。

三島講演会は本事業の実質的スタートであり、長田正太郎事務局長が本事業開催にあたり挨拶をおこなった。「現代社会が情報過多の時代にあって、次代を担う青少年は情報に影響され、自らが自分の足で立ち、自分の頭で考えることをしない借り物の判断をしている時代である。現代社会は第三次産業の驚異的発展により、身近に余暇を消化することができる。しかし、真に次代を築こうとする者が今その流れの中に流されて良い時ではない。地すべり的に流れに乗せられようとする現代青年に警鐘を鳴らし、共に青年の役割を語り合い、道標を求め合うことをしなければならない時にこそある。一つ一つの小さな力の累積こそが、明日の扉を開く力である」その意味で本事業を国三十ヶ所で開催するとの趣旨であった。

講演は、戸川猪佐武先生が選挙争体験の中から矛盾した世代の中で自由の尊さを説き、自由に慣れ過ぎているあたり社会の中に欠陥があり、それによる不幸が生れている。過去の事実の認識について形式通りに物事を判断しない。日本の経済の復興と科学技術の発達を素直に認めなくてはならない。熱意が会理性を蔽い隠したり、理論の上でロジックが合っても現実に添わなくなる。こういったことはマスコミの側にも責任がある。時代の変化に即した時代感覚を育てる必要があることを強調。

大瀧利男先生は、国民総生産第二位である日本の経済的復興は自覚しいものがあるが、国民の日本の社会観の寒いことを指摘し、社会に立つ国際人となることを強調。現代社会を思想過多の時代、人間中心の考え、合理的判断等を視点を設定し捕え、特に英国の自由主義の中から自性を浮き掘にし、青年の役割を解明。

こうして、三島講演会は本事業の最初になおしく、予定の時間をオーバーする程に内容豊かに打ち上げられた。内容面においては本会が予期したように、現代社会の解明と青年の役割を浮き掘にすることができ、内容面で評価が見られる。一方この事業を受け入れる側の組織において、本部との充分なる意思の疎通を欠いた面があったことは残念であるが、各組織が最大の努力を払った事は評価さるべきである。要は、本部との意思の疎通を密にすることと、受け負い的な本事業の取り組みは反省されなければならない。

この外に、静岡では組織が結成されておられたが、吉川宏一君を中心としたグループが担当し、今後支部結成を見指すことが朗報であり、小校においても、本部のポスター、チラシ以外にも自己作成し、有線放送など、金員のセミナなどで全市への情宣がなされたことは特筆されるべきである。ただ、動員された人数によって事業を評価するということではないが、いい内容を多くの人に聴かせる意味では本事業の趣旨を充分理解し、多数の聴衆を会場に来させる努力を重ねる必要があり、それが"友愛"の実践活動に継るものであるべき。なお、本事業の全講演は報告書に纒められ出版される予定である。

友愛文化講演会のスタートは戸川猪武先生によって切られた

青年指導紙の役割を果そう

張主

一、機関紙"友愛"が二百号を迎えた。一口で二百号と言ってしまえば簡単であるが毎月一回の発行であるから一年で十二号、十年で百二十号であり、二百号という大変な数で本会の歴史とも、存在するのである。

機関紙"友愛"が二百号を迎えた機会に、かつての編集担当者、現在の編集担当者の苦労に対しから感謝と敬意を表したい。われわれは二百号を迎えて喜びとも、友愛運動の過去をふり返りその反省と評価をおこない、さらに機関紙のありかたについて再考する必要があると思う。

一、内容面での充実

"友愛"の場合は友愛青年同志会の機関紙であるから友愛思想の普及と友愛運動の紹介が中心になるのは当然であるが、友愛思想の普及についてもあゆる角度から友愛思想をとらえ多くの人々に執筆を依頼し、しかも会員機関紙らしく考慮しての編集をしなければならない。

機関紙であるから会員を主体とした内容が要求される。これは機関紙の持つ使命である。会の思想傾向状況、組織の状況等が主なる内容となり編集される。このことと自体は最必要な事であり、現代社会の情報過多の時代にあって、次代を担う青少年の指針となるべき内容を充実させるようにしなければならない。

二、いわゆる"前向きの姿勢"

機関紙であるから会員の意見、ことにある機関紙編集上当然なことである。しかし機関紙には組織内の人々のみではなくまた組織に参加していない不特定多数の人々に対しても、その組織に参加しようとする意欲を起こさせるようにする使命もある。従って一般向けの文記事、すなわち友愛の会員はもとより、ひろく一般に読まれ、聴き、聴きをふやしこれによって組織のプラスになるように努める必要がある。

三、親しみやすい新聞にしなければならない。

"友愛"の記事はつねに若々しく、親しみやすい機関紙にして会員はもとより多くの人々に読み道を示唆しているようなものにしし"友愛"が手もとにとどくのが待遠しいようなものにしていかねばならぬ。そのためには極的な友愛活動を展開しなければならない。

四、わかり易い言葉で

"言っては易く行い難し"という診断があるが機関紙編集についてもまったくである。編集者の苦労を知りつつも友愛運動発展のためにさらに一層の工夫力を期待したい。

指導者は組織の基盤

組織三ヵ年計画

本紙二百号合本作成計画

第5回常幹

去る八月六日（水）午後七時より、幹部議員の下に、第四回常任幹事会が開催された。

長田事務局長により、一般会務報告、会計報告が行われ議事に入った。

議題は、①友愛文化講演会について、②研修会、講習会について、③組織三ヶ年計画について、④機関紙"友愛"二百号記念発行について、⑤安保に対する取組みについて本会最終結論について、⑥第二十五回全国幹事会について、⑦その他について、であった。

①については、諸準備の進行状況の説明に続き、他団体との提携を討議し、文化講演会実行委員会にて検討することとした。

②については、八月八日より十日迄、軽井沢にて開催する予定であった。中級指導者研修会を、諸事情により、十一月一日より三日迄延期することとした。又九月十四日、十五日に開催される第十六回中央指導者講習会は、内容を充実させるように、担当を中央教育指導部長が行なうこととした。

③は、組織委員会の報告に基づき、会の現状、会員意識、実体、青少年の動向、山岳対策の諸問題を討議し、各組織の活動指導を強化行なう様要綱し、重ねて組織委員会にて検討することとした。

④は、九月号を以って二百号となる故、記念特集をすることとし、百号より二百号迄の合本を作り希望者には頒布することとした。

⑤は、斉藤実幹事が起草案を執筆し、同案を、八月中旬迄に完了させることとした。

⑥は、昭和四十四年十月五日（月）午前十時より、午後五時迄音羽鳩山邸にて開催することとした。

の他、中青連映画審査委員に斎藤実常幹を推薦し、八月に開催される、W・A・Y大会の日本代表に、おみやげ品を渡す事とし、理事会員会を九月二十五日（木）に開催することに決め、交流協"訪欧代表団歓迎行会"を八月十二日（火）に鳩山邸離れにて開催する事に、会議題を終了した。

平和の泉完成する

長崎で初の全国集会

核禁会議

核禁器禁止・平和建設・国民会議（議長＝磯村英一東洋大学名誉教授）の平和全国集会が"全面停戦から全面軍縮へ"と"内外の被爆者へ援護の手を"をスローガンに八月三日午前十一時から長崎市公会堂で開かれた。同会議の全国規模の集会はこれまで東京、広島で開いていたが、同会議が全国から浄財を集め同市松山町の平和公園に建設した噴水「平和の泉」の完成とともに、ことし初めて長崎で全国集会を開いた。

この集会には磯村議長をはじめ滝田同盟会議会長、尾形本会幹事長（核禁会議組織部長）、全国各県の核禁代表ら約二千名が参加した。小川核禁事務局長の開会のあいさつに続いて、長崎をはじめ広島の各代表四人を議長団に選出。原爆犠牲者の霊に対して黙とうをしたあと、磯村議長が「平和の中で」の会議が開かれることは言葉にしいことだ。この平和は二十四年犠牲の原爆でなくなった幾多の犠牲者の上にたってきずかれたことを決して忘れてはならない。だが、いまだお世界の一部では不幸がある。この背後には核兵器があり、これがなくならないかぎり、平和はおぼつかない。われわれはこの現状をみつめて平和運動を繰り広げなければならない」とあいさつした。また来賓として出席した佐藤知事、諫谷市長らもあいさつを述べた。

続いて平和を希求して重枝同盟書記長、安西愛子さんらが所信を表明。被爆者代表の調米助長崎大学名誉教授が核兵器の禁止と平和の必要性を切々と訴え、共感をよんだ。

このあと核禁県民会議の相島久美事務局長が大会宣言を朗読、満場の拍手のうちに採択した。さらにテレビジャパンタイムス編集顧問の斎藤忠氏が「核兵器をとりまく国際情勢の解明と核禁・平和運動の進め方」について記念講演をおこなった。

また核禁会議が長崎市平和公園に建設していた噴水「平和の泉」の完成式が三日午後二時から同公園で行なわれた。

二十四年前の八月九日、長崎の上空でさく裂した原爆は一瞬にして多くの尊い生命を奪った。「しゃく熱の放射線に焼けただれ、水を求めながら息絶えた原爆犠牲者の霊をきれいなかで感めよう」と核禁会議が全国から浄財約三千万円を集め、ことし月十七日から爆心地にほど近い平和公園の一角に建設を進めていたもの。

式典には磯村議長をはじめ平和集会を終えた各県代表らのほか、被爆者や遺族ら約二千人が参列。本会から地崎宇三郎副会長代理（鶴巻勇民、常任幹事与鶴巻克雄氏、尾形智知幹事長代理）が出席した。

式典は平和の泉建設委員会の今里広記代表が「平和を願って全国から集った浄財でつくられた平和の泉は原爆犠牲者の霊を慰めるとともに平和を求めるシンボルになろう」とあいさつ、献水場前の紅白テープにハサミを入れた。つづいて白手袋の各代表が全国四十八ヶ所の代表的な清水を竹筒に入れて献水。さらに原爆犠牲者の霊に対し黙とうをささげたあと、完成を祝って安西愛子さんが「長崎の鐘」を独唱、続いて流れた平和公園にこだました。

このあと、磯村議長から諫谷市長に平和の泉命名の目録がわたされた。諫谷市長は「みなさんの気持ちを大切にしていつまでも残していきたい」とお礼を述べた。

万博世界青少年のつどい役員会

去る八月二十二日、午後一時より万博世界青少年のつどい役員会が中青連事務局で開催された。

議題は関係の件であり、ポスター、シンボルマークの件については、ポスターの原案は作成されたが経費の面で、タイアップして作成予定。シンボルマークは決定。また、第三回WAY総会が開催されるなら故、記念特集として、百号より二百号迄の合本を作り希望者には頒布することとした。

交流協訪独代表団帰国

去る八月二十四日、午後三時二十分、先に出発した世界青少年交流協会派遣訪独代表団が元気に帰国した。

本会からは細川班長をはじめとし、内村、長田、姫野の四名が参加しており各地で多くの交歓の実をあげ帰国した。

健青会二十周年大会

本会とともに青年運動の指導的団体として活躍している日本健青会の第二十回全国大会が、オリンピック青少年総合センターで開催され、本会より尾形幹事長が招待され祝賀の意を表した。

中青連役員会

去る八月十七日、午後一時より中青連において中青連役員会が開催された。

議題としては、アジア青年セミナーリーダー派遣、青少年旅行（デンマーク）万博跡地利用（オリンピック青少年総合センターと同じく大阪に青少年活動の殿堂を作ることを要請）社会教育関係団体施設免税措置について要請、民間ユネスコ推進連絡協議会参加（参加決定）等であった。

会員増加月間

期間　十一月一日～十一月三十日

方法　一人一名獲得目標　リーフレット・パンフレット使用による説得、事業参加など

本年度は友愛文化講演会をはじめ全国的に積極的に運動を展開している。更にその成果を確実にするため、左記の通り会員獲得運動を展開します。目標達成のため各位の活躍を期待します。

直言

◇本会結成以来二百号、月、本号を以って二百号とりこうしたことは、十六年余の長きに渡る活動の集積である。離合集散を続けながら、今日あるのは、友愛精神による友愛社会の実現が現代社会に光明を投げうとしていた大きな使命によるものである。その証明は本紙の合本として輝しく書き示され、残されることであろう。

◇本紙第一号には、故鳩山一郎先生の"友愛革命と民主政治"の調文が掲載され、「友愛革命の達成には、どうしても将来の日本を背負い立ち、民主政治実現の前衛としての青年諸君の意気と情熱と力とそれを基幹として推進される一大国民運動の展開」が急務であることを説かれておられる。将に民主政治実現の前衛としての青年の役割を強く主張されているのであり、この道に沿って友愛運動が続けられて来ており、将来もその実現に邁進して行く所に本会の存在意義を増すことが明示されているのである。

◇友愛も一年代を重ねることによってその範を広めてきている。しかしながら、今あるを守るよりも、前への可能性の方が遥遠である。口の悪い人にいわせると、友愛が全国組織としての体面を保っているのは、将に本紙があるからである。内容の豊負というよりも、継続することによって組織を維持しめる大きな作用を果しているとも言えるのである。

◇友愛文化講演会のスタートは、戸川猪武先生の"友愛革命と民主政治"の調文が掲載され、「友愛革命の達成には、どうしても将来の日本を背負い立ち、民主政治実現の前衛としての青年諸君の意気と情熱と力とそれを基幹として推進される一大国民運動の展開」が急務であることを説かれておられる。将に民主政治実現の前衛としての青年の役割を強く主張されているのであり、この道に沿って友愛運動が続けられて来ており、将来もその実現に邁進して行く所に本会の存在意義を増すことが明示されているのである。

◇友愛も一年代を重ねることによってその範を広めてきている。しかしながら、今あるを守るよりも、前への可能性の方が遥遠である。口の悪い人にいわせると、友愛が全国組織としての体面を保っているのは、将に本紙があるからである。内容の豊負というよりも、継続することによって組織を維持しめる大きな作用を果している。

◇本紙第一号には、故鳩山一郎先生の"友愛革命と民主政治"の調文が掲載され、「友愛革命の達成には、どうしても将来の日本を背負い立ち、民主政治実現の前衛としての青年諸君の意気と情熱と力とそれを基幹として推進される一大国民運動の展開」が急務であることを説かれておられる。将に民主政治実現の前衛としての青年の役割を強く主張されているのであり、この道に沿って友愛運動が続けられて来ており、将来もその実現に邁進して行く所に本会の存在意義を増すことが明示されているのである。

ロータリー

一本の糸

雑然とした部屋。何がどこに置いてあるのかが一寸とわからない。

"何んと無精な……"その部屋を見た人は言うに違いない。掃除も充分に行き届いてもいず、タバコの吸殻が一杯になった灰皿、書き殘しの原稿、沢山なメモ紙、読み掛けの本、旅行カバン、座蒲団、BTCそこいら辺に所せましとちらかっている。

それが私の部屋である。私には何がどこにあるかはいたい分る。たとえ、小さなメモ紙一枚でも私の記憶に殘っている。用が済んでしまったメモ紙でも捩にまみれていても、何かを私に思い出させてくれる。でも、時には重要な探し物などをする時に、確に置いたと思われる所に無かったら大変である。記憶の糸を辿ってあっちを探し、こっちをひっくり返し、"無い"ということになると無精に腹が立つ。外にする用事があっても手がつけられない。こうした時、書類だけでも整理をしておけば良かった、やろうと思う。

時間のある時など書類を整理し出したら、あの時ほどんなだったろう。あのときこうしておけばなどと書類を見ながら反省し、時には書類を読み出してしまう。前に探していた書類などが目に触れる。それでおしまいである。整理するよりも、読んだり、考えたり見たりするのに時間が掛ってちらかしっぱなしで終ってしまう。

その上に、以前の同志の手紙と、原稿、メモ紙などを見つけると、彼は今何をしているだろう。彼女は……と苦のことを思い出し懐かしく感じる。かっては同じ"友愛"に燃え、一生懸命だった彼（彼女）の気持は、今、彼の心の何処にあるだろうか。心の隅に残っているだろうか。時間が無くて活動に参加できないのだろうか。暫く苦しまっていないので参加しずらくなったのだろうか。と一寸とした行き違いから、友愛から離れた人も居るかも知れない。

雑然としていても、人間の交わりは糸を辿って行けば必らず元の所で触れ合うものがあるだろう。人間の出合い程、不思議なものはない。人間の感情は、時としてどうしようも無い状態に追い込まれてしまう面も持っているのではあるが、後に続くに自信と勇気を持たせる意味では、雑然とした中にも一本の糸が通ることを願わずには居られない。

かくして書類の整理は後日改めて。

—S・O—

放送局に一言

雑踏のさ中・急ぎの用事を済ませうと車の中でやきもきする。東京の街には遠がない。東京の道は道路にあらずベルトコンベアみたいなもの。そのベルトコンベアの中で一米でも先に出ようとしてドライバーは互いに先を争う。争って傷つきあう。

至極当然のことである。しかし皆この当然のことが一事が万事感覚としてピッタリと来ない。コチョコチョとした性格になりきってしまっているのである。その原因としては間接的なもの、直接的なものとが限りなくあげられるであろう。その最も身近なものはカーラジオから流れる放送であろう。あの放送内容は何とせわしないことか。アナウンサーは急いで喋りまくったあとジャンジャーンといったコマーシャルが入る。そのあとまた早口のアナウンサーが喋る。放送局は何かに追い立られているかのように見える。こんな放送をドライバー耳にしながら運転しているのである。先へ先へと気がはやるのは当り前である。特に民間放送に進言したい。「交通事故防止のために、ゆっくり落ちついた放送内容にして」と。

（F・W）

投書欄

機関紙二百号を祝す

"友愛"の二百号を祝し、中青連委員長橋本祐子さんと、常任相談役奥田吉郎氏より心暖まる祝辞が届いたので感謝の意をもって掲載いたします。これから更に三百、四百号と続ける為にも各位の一層の活躍を期したい。

青年の機関紙たれ

常任相談役　奥田吉郎

機関紙「友愛」の二〇〇号発刊はそのまま友愛青年同志会の歴史である。

「友愛」は、昭和二十八年三月の結成にさきがけて発刊された。

創刊号、続いて第二号に寄せられた鳩山一郎先生による友愛運動の提唱、クーデンホーフ・カルルギー伯の友愛革命の思想は、いまだに敗戦の混乱の中に低迷していた日本人に大きな衝撃をあたえたものである。

神田にあった結成準備のための事務所には、鳩山一郎先生の今後の動きに対する期待と、我が国ではあまり知られていなかったカルルギー伯の思想に興味をもった多くの人々が集まってきた。

特に、当時の学生運動の中心であった全学連は、共産系に指導されていて、学生の間では共産主義は理論的で優れた思想であると宣伝されていたため、共産主義に代る新しい思想を求めていた学生は友愛思想との理想を抱いて参加してきた。

友愛運動に意欲をもっておられた鳩山先生は、進んで機関紙の題字を揮毫された。

題字は、最初は白地の上に「友愛」となっていたが、白地に黒枠ではどうも紙面が淋しいので、朝日や毎日新聞をまねてバックをつけることになり、鳩山先生が好きであったバラの花に似た地紋を入れて今日の題字となった。

機関紙に関する想い出はつきないが、「友愛」紙上で歴代の編集長を集め座談会を催してみたら如何だろうか。

二〇〇号まで続いてきたこの機関紙の裏舞台には、人知れない苦労を歴代の編集長は経験したであろう。

二〇〇号記念に、改めて歴代編集長に敬意を表する意味で百円計画と思う。

機関紙は、友愛思想の普及、会の宣伝、本部と支部、会員と会員とを結ぶための重大な役割を果しているが、二〇〇号を記念にさらに躍進を期待するために、日頃感じていた二、三の提案を試みて祝辞に代えたい。

一、青年の機関紙たれ

「友愛」は一般紙や他の新聞と違うのだから、その特徴を大いに発揮しなければならないが、もう少し枠を拡げて、一般の青年にも興味と関心を投げかけるような青年関係の記事を取りあげたら如何だろうか。

例えば、国連青年会議についての提案等の大きな問題から青年白書のような青年の各種の実態などの紹介等、大胆に試みて「友愛」を読んでおかないと新しい青年運動から取り残されるなどといわれてみたい。

一、時事性をもりこめ

社会は常に流動しており、青年もその一員としてその空気を肌身に感じて生きている。

時事問題の中で青年と関係の深いものには卒直に取り組み、関連の薄いものには青年らしい批判を行なって欲しい。

学園紛争等については、同世代の青年が何らかの発言、行動を展開しないのは青年らしくない。

その先頭に立つ機関紙は友愛の立場にたってキャンペーンを随時展開しても、いいのではなかろうか。

一、会の指針を知らせよ

昨年の機関紙は友愛思想についてよく紹介し、その努力を高く評価している。

それに合わせて支部や会員がその年度の運動方針並びに事業計画従って何の活動をするかについての適切な指針についても努力してみるならば、会の活動は直接的にしかも具体的に会員に伝わり友愛活動の前進に助けとなる。

また最近は、一般現象として青少年の体活活動が不活発であるし良き指導者にもめぐまれていない。

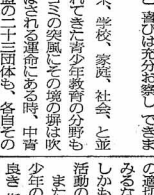
会の指導者講習会に参加するのが理想だなのだが、勤務の関係、予算の関係で参加できない場合も多い。従がって機関紙でわかり易く①支部活動の進め方、の指導者のあり方などを連載して貰いたい。

一、期日通りの発行

一、歴代の編集長の目標であり、言うは易く、実行は困難であるがやはり期日通りに発行して貰いたい機関紙を手にした時の感動の強弱にこの期日に深い関連のあることを認識してみるべきである。

他に"見出し"の研究をし、見出しだけで記事の内容がわかるようにするのと、カットや小見出しを使い読み易い新聞を希望しておきます。

大変な祝辞となって恐縮しているが、益々の発展を祈ります。



積み上げは力なり

中青連委員長　橋本祐子

「友愛」二〇〇号記念に際、真っ先に浮ぶのは「積み上げは力なり」ということ。始めるは難く、続けるは更に難し」なのであります。

それはさて、一と口に二〇〇号というものが、容易ならぬことが、私自身の青少年運動の経験が教えてくれるからです。職後、銭一つ手に入れることさえ不自由しながら、あらゆる困難を一つ一つ乗り越えて来た青少年団体としての誇りと喜びは充分お察しできます。

従来、学校、家庭、社会、と並べられてきた青少年教育の分野もマスコミの突風にその殻の塀は吹き飛ばされる運命にある時、中青連加盟の二十三団体も、各自その特色は、たとこもるためのものでなく、挨拶あい、わかちあうためのものとしてこそ、意義を持ってきます。そのために果たす広報活動の役割に期待し、この上とも「友愛」の可能性に、大きな夢をかけたいと思います。

春夏秋冬

青少年白書発行近づく

毎年十月に発行される「青少年白書」は、総理府青少年対策本部においてその編集が急がれている今回の「青少年白書」の特色は青少年問題および青少年対策に関する基本的な事柄や最近の実態をできるかぎり簡明な形で国民に提示することをねらいとしている。

第一部においては、青少年の現状について述べ、第二部において国の講じている青少年施策について解説している点である。

第一部においては、とくに「青少年の意識と行動」の項を設け、最近における調査の結果を戦前の資料等と比較しつつ解説。第二部においては、青少年の指導、育成に関する国の施策を、各省庁別ではなくて、青少年の生活の場と対応させ、「家庭に関する施策」、「職場に関する施策」、「家庭、学校、職場外の場に関する施策」の四部に分けて解説し、青少年の保護、矯正に関する施策について第五章において、青少年育成国民運動を中心とする民間運動については第六章において取り扱われている。

鳩山薫先生にクッションを贈呈

【小樽発】小樽支部（支部長＝巽保彦氏）では去る七月三十一日結成二周年迎えたことを記念して鳩山薫先生に椅子のクッションを贈呈した。

これは支部の手巻サークルの会員達が毎年二回開かれる講習会に当てられた自慢の腕によるものである。

鳩山薫先生が未永く友愛運動を続けられるよう願いを込めて作られすばらしの花で模様づけられた大変派なクッションが出来あがった。

又八月十七日（日）には桜ヶ丘学園の幼児達十八名を父兄館へ招待した。この幼児達はまったに海も無い見られないかわいそうな子供達。市の協力で借用できたマイクロバスを仕立て一路水族館へと出発。子供達は各々の会員に招かれて、水族館内を一巡した。そのあと昼食を済ませ、浜辺でのカニ採りなどに興じ楽しい一日を過した。

春夏秋冬

マ＝青年の船の第一回目に派遣された千葉支部の才女、緑川玲子さんがこの秋目出たくご結婚される。相手は津軽半島の中小都市五所川原でリンゴ栽培を営む福士君。

マ＝ヴィーンに留学している河路福治君（城西支部）は近々、本会代表団の一員としてオーストリア派遣団が教育することを目的に秋の思いで待っているとのこと、河路君はオーストリアに渡って約一年本会の人達がウィーンを訪ねてくれることが一番の楽しみという。

オーストリアでの通訳、案内を宜しくお願いします。

近とあっては二重の喜びである。

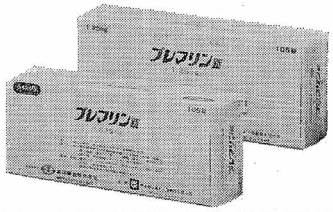
美しい魅力を　いつまでも貴女に——　Premarin

更年期及び更年期後の婦人に

結合型エストロゲン製剤

プレマリン錠

40代・50代におこりやすい更年期障害……のぼせ・発汗・頭痛
なんとなく気分がすぐれず疲れやすい……にマイルドな効果を
発揮するプレマリン錠を！

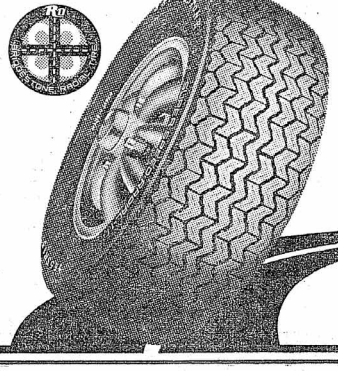


製造発売元　東洋醸造株式会社
東京・静岡・大阪・名古屋・福岡・札幌
提携　アイヤースト・ラボラトリーズ・米国

ラジアルのなかのラジアル！

ラジアル・11（イレブン）

スタート・ストップ・コーナリングは思いのまま！　活動派向きのタイヤです



高速にもっとも安全

BS　ブリヂストンタイヤ

実践的理想主義に謳う
カレルギー伯の平和主義

一九七〇年問題を控えて本年は重要な年でもある。そこで編集局としては、本会名誉会長カレルギー伯の〝平和主義〟を掲載し広く平和理念を理解し、実践の参考に供したい。これは一九二五年「実践的理想主義」の最終項として書かれたもので、「備えある平和」即ち政治的平和主義を説いたものであり、今回は「平和へのプログラム」と「平和の実現は二平和主義者の肩」にあることを説いている。ここに鹿島平和研究所会長鹿島守之助先生の御厚意により掲載いたします。【編集局】

第六章　現実政治から見た平和計画

ヨーロッパにおける戦争勃発の危険は、二つに大別できる。第一は、国家的圧迫に根ざすものであり、第二は社会的圧迫に根ざすものである。

今日ヨーロッパの平和を脅かすものは、国境問題とロシア問題である。

国境問題の本質は、ヨーロッパの大部分の国家および民族が現在の国境に満足していないことにある。なんとなれば、現在の国境が国家主義者の国家的、経済的または戦術的要求に合致していないからである。今日の国境を平和的に変更することは、現在の諸国の国境においては不可能である。したがって、現在の国境に不満足の国国の国家主義者は、新たに戦争を起こして強引に国境変更をせなければならないとの結論に達している。

ロシア問題は、ヨーロッパの現在の組織を強引に覆すことを目的とする自分公言している指導者を頂いた世界的強国が、ヨーロッパの東部国境に接して存在していることに根ざしている。この目的を達成するため、これらの指導者は、財政的援助を与えており、ヨーロッパに革命が勃発したら、このような宣伝費金に加えて、ソ連軍を派遣しうる事態になることを期待している。

主義の点から見て、ロシアは今日の平和主義の敵であって、武力に訴えることを公言しており、強力な軍隊を組織し、その力をもって、世界地図――少なくともヨーロッパおよびアジアの地図――を徹底的に変えようとしている。この軍隊がいつぶん強くなった暁には、ソ連に対して条約を頼りにすることは、英国に対して艦隊の力を頼りにするのと同様に、非政治的であるとともに、非平和的である。これに反して、ヨーロッパ平和主義は、軍備制限を行ない、かつその千渉計画を心から放棄する和的ロシアに対しては、平和的な英国に対すると同じような態度で接する用意をいつでも持っていなければならない。

しかしながら、ロシアが社会解放の名前にかくれて軍備を行なっており、多数のヨーロッパ人がロシアからの侵略を解放戦争と考えるであろうということを、ヨーロッパの大衆の間に広めれば広めるほど、それだけ解放戦争の起こる危険が迫ってくるのである。

国家的圧迫を去ることによってのみ、国家としての戦争の危機を永久的になくすることができるのと同様に、前述の社会的戦争の危機は、社会的圧迫をなくすることによってのみ除くことができる。

民主々義諸国における労働者階級の現状と将来が、ソ連における諸民族に求めるのは難しいからである。

国際間の交通路の目的とすると、ころは、各人が自国で話すのは母国語であっても、他国民との会話の場合は、意志疎通語を使用するという点にある。故国から離れる者はだれでも、一つの意志疎通語だけを自由にこなせばよいわけであるが、現在のところは、外国では数ヵ国語を必要とする実状である。

国際交通語としては、エスペラント語と英語だけが取りあげられる。この二つの言葉のうち、いずれが国際間の交通のために選ばれるかということは、重要ではなくて、この二つの言葉のうちのいずれに世界が一致するかということが必要である。

英語はエスペラント語に比べると、既にオーストラリアおよびアジア、アフリカおよびアメリカの半分ならびにヨーロッパの大部分で、国際交通語としての役割を引き受けていて、したがって、これらの地域では、英語を公に採用するには現在行なわれている実用を承認するだけですむという点で、大きな利点がある。そのほかに、英語は、ゲルマン語とラテン語語系の中間にあるので、ゲルマン民族ならびにラテン系民族にとって習得容易であり、さらにゲルマン系またはラテン系の一国語のできるスラブ人にとっても習得容易である。さらにまた、英語は、地球上の最も強力な二つの国の国語であって、白人種の間に最も普及している言葉である。

補助的国際語の採用は、国際連盟が、その言葉を手ず世界中のすべての中学校および教員養成機関で強制的に採用せしめ、次いで十年後には小学校でも採用せしめるように提案すれば可能であると考えられる。

※

人道精神の普及や、悪意に対する闘争に比べると、啓蒙精神の普及と人間の無知に対する闘争の方が、平和の宣伝の効果をいっそう成されねばならない。

ソ連に対して条約を頼りにすることは、英国に対して艦隊の力を頼りにするのと同様に、非政治的であるとともに、非平和的である。これに反して、ヨーロッパ平和主義は、軍備制限を行ない、かつその千渉計画を心から放棄する和的ロシアに対しては、平和的な英国に対すると同じような態度で接する用意をいつでも持っていなければならない。

しかしながら、ロシアが社会解放の名前にかくれて軍備を行なっており、多数のヨーロッパ人がロシアからの侵略を解放戦争と考えるであろうということを、ヨーロッパの大衆の間に広めれば広めるほど、それだけ解放戦争の起こる危険が迫ってくるのである。

国家的圧迫を去ることによってのみ、国家としての戦争の危機を永久的になくすることができるのと同様に、前述の社会的戦争の危機は、社会的圧迫をなくすることによってのみ除くことができる。

民主々義諸国における労働者階級の現状と将来が、ソ連における諸民族に求めるのは難しいからである。

国際間の交通路の目的とすると、ころは、各人が自国で話すのは母国語であっても、他国民との会話の場合は、意志疎通語を使用するという点にある。故国から離れる者はだれでも、一つの意志疎通語だけを自由にこなせばよいわけであるが、現在のところは、外国では数ヵ国語を必要とする実状である。

国際交通語としては、エスペラント語と英語だけが取りあげられる。この二つの言葉のうち、いずれが国際間の交通のために選ばれるかということは、重要ではなくて、この二つの言葉のうちのいずれに世界が一致するかということが必要である。

英語はエスペラント語に比べると、既にオーストラリアおよびアジア、アフリカおよびアメリカの半分ならびにヨーロッパの大部分で、国際交通語としての役割を引き受けていて、したがって、これ

第七章　平和思想の促進

平和主義者は、自国の対外政策上の平和計画の達成とともに、国際間の協力と相互理解を促進する機会を逃してはならない。

この点が、国際連盟に対する平和主義の立場を決定している。

現在の国際連盟は、平和機構としては誠にきわめて不完全である。国際連盟は、特に、国際連盟を生んだ親である戦争の遺産によって、あまりに重い荷物を負っている。現在の国際連盟は弱体であって、非有機的であり、信頼するに足らない。さらに米国、ドイツおよびロシアが加入していないかぎり、国際連盟は未完成品である。それにもかかわらず、ジュネーブの国際連盟は、従来の国家間の無統制に代わるべき、世界にまだある国際的組織への第一歩を踏み出した案である。

国際連盟は、国際連盟よりもすぐれた機構であっても、計画だけにとどまっているものに比べると、その存在価値は測りしれないほど大きい。

したがって、すべての平和主義者は、この弱体で、脆くて未成熟の国際連盟を支持しなければならない。平和主義者は、国際連盟を批判すべきであるが、これに反対してはならない。国際連盟の改変に努力するのはよいが、その破壊に努めてはならない。

※

すべての平和主義者は、すべての人々の害にこそなっても、だれ一人にも得にならない愚かな民族憎悪感を除くことに努力を払うべきである。この目的を遂成する最も良い方法は、真理の普及、悪意に満ちた、教養のない諸民族を扇動しないようにすることである。

なんとなれば、諸民族がお互に相手に対する認識を持たないで、漫画に描かれた偏狭過激な新聞や文字の発表をすることだけに注目している原因があるのである。このような事実の強調が感情的な国民文学をつくり出し、翻訳を奨励し、また、大学教授、教師、学生および生徒の交換を促進すべきである。

国際間に協定をつくって、外国に対する偏狭過激な愛国主義的運動を、学校や新聞でよろしくなくやっつけるべきである。

平和思想を促進し、戦争扇動をなくするため、各国に平和を設けるべきであると思う。平和省とほ各国平和省相互間の接触を常に保ちつつ、国内および外国のあらゆる平和機構と協力して、国際間の和解に役だつことを目的とするものである。

平和主義に課せられた最も重要な問題の一つは、相互の意志疎通のための国際語の採用である。なんとなれば、諸民族が相互に語りあうことができるためには、諸民族が相互に理解し話しあうことを

その存在価値は測りしれないほど大きい。

したがって、すべての平和主義者は、この弱体で、脆くて未成熟の国際連盟を支持しなければならない。平和主義者は、国際連盟を批判すべきであるが、これに反対してはならない。国際連盟の改変に努力するのはよいが、その破壊に努めてはならない。

※

すべての平和主義者は、すべての人々の害にこそなっても、だれ一人にも得にならない愚かな民族憎悪感を除くことに努力を払うべきである。この目的を遂成する最も良い方法は、真理の普及、悪意に満ちた、教養のない諸民族を扇動しないようにすることである。

なんとなれば、諸民族がお互に相手に対する認識を持たないで、漫画に描かれた偏狭過激な新聞や文字の発表をすることだけに注目している原因があるのである。このような事実の強調が感情的な国民文学をつくり出し、翻訳を奨励し、また、大学教授、教師、学生および生徒の交換を促進すべきである。

国際間に協定をつくって、外国に対する偏狭過激な愛国主義的運動を、学校や新聞でよろしくなくやっつけるべきである。

平和思想を促進し、戦争扇動をなくするため、各国に平和を設けるべきであると思う。平和省とほ各国平和省相互間の接触を常に保ちつつ、国内および外国のあらゆる平和機構と協力して、国際間の和解に役だつことを目的とするものである。

平和主義に課せられた最も重要な問題の一つは、相互の意志疎通のための国際語の採用である。なんとなれば、諸民族が相互に語りあうことができるためには、諸民族が相互に理解し話しあうことを

は、ヨーロッパがその軍備を増加しないままで、パン・ヨーロッパ防御同盟を結ぶことによって直ちに達成できるものである。

しかしながら、ヨーロッパの平和主義は、このような軍事的優勢から更に軍備競争に走らせてはならない。むしろ、この軍事的優勢を、ロシアとヨーロッパの間の軍備縮小および相互理解の基礎としなければならない。

ヨーロッパは、その組織が拡大してゆくロシアの権力者の政治的見解を変更せしめる能力を持っていない。ヨーロッパは、これらの権力者を説得して平和に導くことができないから、強制的に平和に向かわせねばならない。一方の諸国が平和的な方向をとっていて、他方の諸国が好戦的である場合は平和主義としては、平和主義者側が軍事的に優勢となるようにする。この状況が反対である場合は、それは戦争を意味している。

自国の軍備を制限することが、平和への確実な道であると考えている多数の平和主義者があるが、これは誤った考えである。事情によっては、平和のためには軍備縮小が必要であり、別の事情によっては、軍備を必要とすることもある。たとえば、もし英国とベルギーが一九一四年に強力な軍隊を持っていたとしたならば、戦争勃発直前における英国側の調停申し出は、もっと考えられる可能性があったかもしれない。

今日一つの民族が平和主義に基づいて兵役を拒否することを明言しているのに対して、その隣国がその民族を攻撃する機会を狙っているならば、それは平和を促進することなく、戦争を促進することである。また、一方の民族が自国の平和を確保するために軍備を増大し、その結果として、平和を愛好する隣国を挑発して軍備競争に至らしめるならば、それは平和を促進することなく、戦争を促進することになる。

どんな平和問題も個々に取り扱うことが必要である。したがってヨーロッパとしては、今日のところでは、英国とロシアに対して同じ平和方法を適用することができない。

安定した平和的な政治を有する英国との平和は、条約に基づいて達成できるが、革命の最中にあって、ヨーロッパ組織に対する戦争計画を否定しないロシアとの間の平和は、軍事的保障によって達

争の主要部分を成すものである。

どんな圧迫も、圧迫者を駆って軍事力の維持に向かわせ、また一方被圧迫者とその盟友とを戦争扇動に駆り立てる。それとほぼ同様に、戦争政策、軍備政策は、内政面において圧迫を行なうための最も強力な手段を、国家の権力者の手に与える。この手段とは軍隊のことを指している。したがって、諸宗教、諸国民、諸階級が圧迫感をなくした暁に、そはじめて、ヨーロッパおよび世界の平和が決定的に確立されるのである。

これが、平和的外政から、自由な内政と手に手をとって進む根拠である。これに反して、対外的な戦争政策は対内的な圧迫を伴うものである。

それよりもすぐれているという点について、ヨーロッパの社会的失地回復同盟のために実証が挙げられるならば、それ時にそのうめて、ヨーロッパの社会的失地回復同盟は、モスクワのインターナショナルから離反するであろう。共産主義が、これと反対の証明を挙げることに成功するならば、いかなるヨーロッパ人も、ロシアからの侵略を解放戦争と考えるであろうということを、ヨーロッパおよび世界の平和が決定的に確立されるのである。

これが、平和的外政から、自由な内政と手に手をとって進む根拠である。これに反して、対外的な戦争政策は対内的な圧迫を伴うものである。

早く挙げる見込みを持っている。

なんとなれば、人間の種族にいうものは、人間の本能よりも早く変わってゆくからである。そして、また、平和運動としては、ある程度人間の理解力に頼ることができれば、ことさらに人間の心情に訴える必要が――少なくとも――ロッパにおいては――ないと思われるからである。

啓蒙によって、魔女の火あぶりや、褐問、奴隷制度の時代が終わったのと同様に、人類の野蛮時代からの残存物である戦争もまたいつかはなくなる時が来るであろう。

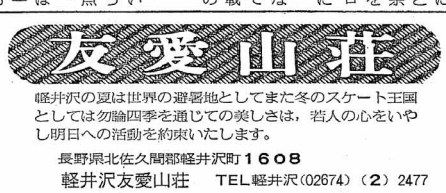
それがいつ実現するかという点については、はっきりいえない。そういう時代が来るということは、はっきりしている。その運度は、平和主義者の肩にかかっている。

人類がいつかは相互平和のうちに生活することを会得することに比べれば、何十万年も経ってはじめて飛ぶことを会得したことのほうが遥かに大きな驚異であり、ありそうに思えないことであった。

中国地方随一の景勝地である尾道千光寺公園内に三階建の快適な宿泊施設をほこり、太陽に輝く瀬戸内海を望む楽しい旅行に是非御利用下さい。

広島県尾道市千光寺公園内
尾道友愛山荘　TEL尾道（0848）（22）5554
所長　高橋最宣

（ユース・ホステルの規則に従っています）
宿泊料金　1泊2食　会員550円　一般600



軽井沢の夏は世界の避暑地としてまた冬のスケート王国としては勿論四季を通じての美しさは、若人の心をいやし明日への活動を約束いたします。

長野県北佐久間郡軽井沢町1608
軽井沢友愛山荘　TEL軽井沢（02674）（2）2477
ペアレント　三浦満

朝日磐梯国立公園の恵まれた景観の中に建って、東洋一を目ざす猪苗代スキー場と清澄な猪苗代湖を望み春夏秋冬それぞれの美しさをほこっています。

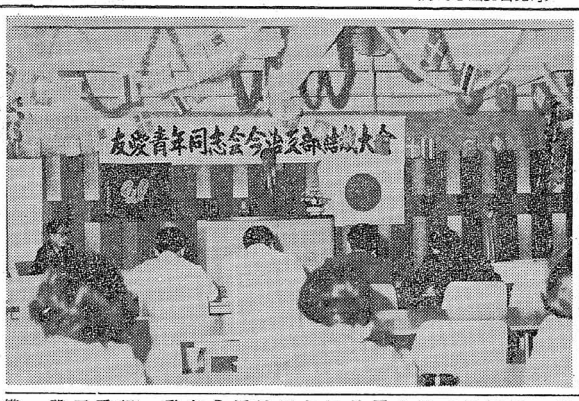
福島県耶麻郡猪苗代町字葉山
磐梯友愛山荘　TEL　猪苗代（02426）（2）3424
ペアレント　卯月研造

問合せ　財団法人　日本友愛青年協会
東京都文京区音羽1－7－1　TEL（941）2801

地方だより

愛媛に友愛山荘を

今治支部が力強い産声



愛媛県今治支部結成式は去る七月二十七日（日）午後一時から四国グランドホテルで開かれた。今治市は尾道港からフェリーボートで一時間の所、古くから織物タオルで知られている人口十万余の都市である。

過来、今治地方に友愛運動が展開されたことがないだけに地元住民の本会の青年運動に対する期待は大きなものとなろう。本会にとっても組織的な面から今後の運動に対する期待は大きい。特に四国全域にわたる機動的な友愛運動の展開が可能となったことである。それは近くにある松山市の活動にこたえて高松、徳島、高知の同志との連携が力強い友愛運動が期待できる。又本州への玄関・尾道には友愛山荘があり、研修会等で手近に利用できる利点もある。さらには尾道とは人的交流も盛んであり、山荘を中心とした活発な運動をも期待してゆくこととなろう。

今治支部の運動方針は①友愛思想の普及②社会福祉事業活動③友愛山荘建設運動の三点で、中でも三点目の愛媛県内友愛山荘を建設への積極的関心が注目される。

なお結成式は、村上司郎結成準備委員長の結成宣言挨拶、本部より派遣された渡部文雄組織部長の祝辞などがあった後、第一回の支部総会に入り規約、活動方針等の具体的審議がなされたあと閉会された。

支部役員は次のように選出された。

支部長＝村上　司郎
事務局長＝山本　健也
会計＝玉井　栄治
総務部長＝安部　九徳
企画部長＝岡本　康男
組織部長＝富田　宏子
情宣部長＝青野　久子
国際部長＝大沢　悦夫
文化部長＝宮我部カヤ子
会計監査＝曽島　守、青野光雄
支部事務局住所
愛媛県今治市廣小町
（昭和商事株式会社内）

札幌北支部結成

長田事務局長迎え発足

【札幌発】去る八月二十八日、札幌北支部結成大会（準備委員長＝佐藤章君）が午後六時半より市民会館第四会議室で開催された。

札幌北支部は、札幌市が百万都市に向って発展を遂げる中で、札幌支部を中心として活動し、ゆたかな発展する中で、支部を東西南北に分化し、より多くの会員を内包しようとする所から生まれたものである。札幌支部から北地区の会員が独立をしたという形で既成組織である札幌支部、道連との連繋を深め発展に繋げようとするものである。

式は七時より開始され、佐藤章準備委員長の結成の趣意と、これからの活動についての抱負が述べられ、本部より、長田正太郎事務局長が、最近の運動をはじめ、道連、及び既成組織との連繋の強化の中で活動を進められるよう、との挨拶があった。他に前道連会長白井啓介氏、市青成協板垣氏、道連より高橋、曷野両副会長はじめ沢山お祝いに駆けつけた。

議事においては、矢島忠雄君の議事により、北地区の経過報告の後、支部結成までの経過報告の後、規約、活動方針、行事計画、役員選出が討議され承認された。

活動としては月一回の例会を中心として、学習会、講演会、社会福祉と社会文化活動に重点を置いて活動することとし、その為に毎月一回役員会において充分検討を重ねて行くこととしている。

新支部長に選出された佐藤章君は、まだまだ未熟な面はあり、これからの指導を宜しくお願いしたいが、皆の期待にこたえるよう努力したい、と力強く挨拶をした。役員は執行部はじめ、全会員が役員となって活動に当る積りで進めたいと力強い姿勢が示された。

◇結成宣言◇

我々青年は友愛三原則を基調として札幌北支部発展と会員個々のつながりを持ち、また会員意見向上に努め、あらゆる活動において勇気と自信を持ち一致団結し、友愛社会建設にまい進することを誓います。

※新役員

支部長　佐藤　章
副支部長　矢島　忠雄
同　高岡美智子
事務局長　西尾　寿子
同　高橋　曷子
同　次長　井上　和好
会　計　矢野クミ子
会計監査　大畑　孝裕

能登に友愛の花

七尾鹿島支部結成さる

石川県七尾、鹿島支部の結成式は去る八月九日（土）午後六時より七尾市　婦人会館　にて開催された。

結成式には市の教育関係者・青年団関係者をはじめ会員多数が出席した。本部からは組織部長長田文雄常任幹事が出席した。

七尾市は能登半島の経済的中心地、当地に支部結成をみたことは同県の加賀支部と一体となり、石川県内における活発な運動が期待される。

又、当地の青年活動は、いわゆる過疎化現象により市勢は衰のこと青年活動も低調になっていることから、当地の「若い力」による地域開発への期待は大きい。七尾鹿島支部はこうした地域性に鑑み七尾地方の青年を広く組織化するとともに既成の青年団体との連携をはかると共に相互啓発に努め幅広い友愛運動を展開して行くであろう。

支部年間行事計画

九月　茶道親睦会＝スポーツ少年団との交歓会
十月　模擬店（ハイキング）他団体とのスポーツ交歓
十一月「七尾まつり」講習会
十二月　歳末助け合い運動
一月　青年の船帰国報告会
二月　成人会員祝賀会
三月　市政学習会
四月　定期総会

支部役員

支部長＝橋本　秀和
副支部長＝小西志津子
事務局長＝杉本　忠一
文化委員長＝布川美津江
情宣委員長＝湊　重三
体育委員長＝山口　敬次
組織委員長＝杉本　和行
女子対策委員長＝和田恵美子
国際問題委員長＝近岡　誠一
会計監査＝板谷紀子・市川美恵子
事務局住所
石川県七尾市駅町
中山茂方内

各地に見るキャンプ

北海道連合

小樽市塩谷海岸で開催

【小樽発】北海道支部連合会では去る七月二十七日（土）～二十八日（日）の二日間、小樽市塩谷海岸のニコー食品寮の宿舎をとり北海道連サマーキャンプを開いた。

例年の行事であるが今年は小樽支部の担当により準備が進められたもので道内各支部より多数の参加者を得て盛大に行なわれた。

第一日目はテント設営を終えて終え、キャンプファイヤー・ゲームに興じた。第二日目は朝六時起床・あわただしく朝食を済まし、支部交換会を行なう。その後宝探し、西瓜割りなどのレクリエーションを行なった。

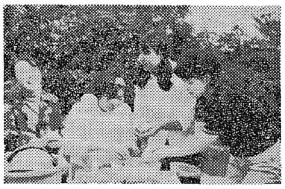
参加者は配布されたしおりの日程に従い規律正しく二日間のキャンプ生活を過ごした。

小牧支部

ドライブキャンプ

【小牧発】愛知県小牧支部（支部長＝永田広和君）では八月十六日（日）～十七日の一泊二日の日程でサマーキャンプを開催した。

コースは鳳那渓の近く岐阜県根の上高原を目指すドライブを兼ねたキャンプであった。



炊事って楽しいわね

バンガローでのキャンプ生活は高木事務局長の指揮のもとに、ともちること（失敗すること）なく終始円満なキャンプ生活であった。みんな余りにもハッスルしたため五十本のコーラが一日で消却してしまい会計の女子会員は予算オーバーを嘆くほど。

翌日は快晴で湖でボートにのったり木曽川で小浴をしたりの二日間・休息もして遊び戯れた。

—小牧支部通信員—

海水浴場清掃を行なう

【北九州発】福岡県北九州支部（支部長＝三松敏児君）では去る七月一七日（日）馬島海水浴場で親睦海水浴を行なった。

参加者は二千名余り、各々五百円の会費を出し合い、果物、菓子を買いもとめ、西瓜割り、宝探しに我を忘れ、楽しい一日を過ごした。また帰る途中では、みんなで海水浴場のゴミを拾う海水浴場清掃という、一善を忘れなかった。

老人ホーム慰問

【那覇発】沖縄県那覇支部（支部長＝崎山喜昭君）より支部活動についての報告がなされた。

学習会＝那覇市会議員選挙をひかえ、会員各自の選挙についての一般教養を高めるため、学習会を開催。

施設慰問＝七月二十七日那覇市郊外にある沖縄厚生園の老人ホームを二十名の会員が慰問した。この老人ホームは、現在六十五歳以上の老人が八つの寮に百五十名が住んでおります。日頃老人のために何か手伝ってあげたいという会員皆んなの希望により作業奉仕を実施致しました。

中央日誌

8/3　核兵器禁止国民会議「平和の泉」撤去式（於長崎平和公園）
6　第四回常任幹事会（後七時　於本部事務所）
WAY第七回総会（参議員との打合せ会（後三時於町村会館）
7　早朝墓参会（前六時半於谷中墓地）
10　七尾鹿島支部結成大会（於石川県七尾市）
12　交流協主催訪欧者友愛関係社行会（後六時半　於鳩山邸はなれ）
13　交流協主催訪欧代表団出発（後七時半　於羽田）
15　第五回友愛サマーキャンプ（～十八日　於富士山麓）
18　第四回執行部会議（約六時半　於本部事務所）
中青連役員会（正午　於町会館）
20　友愛文化講演会中部ブロック開催（～二十三日）北方領土問題協議会（後一時半、於南方同胞援護会）
22　万国博"世界青少年のつどい"役員会（後一時　於中青連）
24　交流協主催訪独代表団帰国（後五時二十分　於羽田）
8/3　太郎坊キャンプ場）日本健青会第二十回全国大会開会式（前十時　於オリンピック青少年総合センター）

綜合警備・各種建築内外清掃
ボイラー・電気保守管理業
指定　北海道教育委員会・札幌市教育委員会
室蘭市教育委員会
株式会社日本製鋼所
東洋実業株式会社
代表取締役　吉川昭市
副社長　向田忠一
本社　札幌市南1条南2丁目（徳銀ビル8階）
電話　代表　25—2211内線219
直通26-9520・9521　夜間直通25-2217
営業所　釧路・帯広・室蘭・苫小牧・岩見沢

株式会社　中嶋組
取締役社長　中嶋信行
東京都世田谷区下川中町二の五九
電話（七〇）一二三一四番
営業品目
アスファルト系舗装工事
セメント系舗装工事
其の他各種舗装工事
舗装に付帯する各工事

営業品目
機械部　電子計算機・電子複写機・タイムレコーダー・ベルタイマー
化成品部　ビニール・プラスティック・ポリエチレン製品の製造及加工
紙業部　紙袋・包装紙印刷・洋紙特殊紙・その他・紙工品
自動車部　ホンダ N360・ホンダニ輪車・自動車損害保険
特販部　コピー用紙（電子・ジアゾー・ゼロックス）現像液・トナー・青写真
ニッセー株式会社
東京都千代田区外神田4丁目5番4号
電話東京(03) 253—7581(代)

創業25年余の伝統と技術を誇る！
特殊切削工具メーカー
森山精密工具株式会社
取締役社長　五十嵐省吾
本社工場　東京都品川区西大井6—14—3　TEL (03) 774—0881(代)
第2工場　東京都品川区豊町2—8—7　TEL (03) 783—6405
営業所　東京都墨田区東向島6—52—5　TEL (03) 314—4197(代)

幹常新プロフィール

メッカ軽井沢の粋人

軽井沢友愛山荘
管理主事　三浦　満

盤梯友愛山荘管理主事川月研造君とともに第十六回全国大会において軽井沢友愛山荘管理主事三浦満君が常任幹事に選ばれた。

三浦君は秋田県男鹿市の出身地元の中学校を出て東北地方の名門校の一つ県立秋田高校、さらに早稲田大学第一政経学部政治科を卒業。

学生時代は"よく学びよく遊ぶ"を実践した人である。遊ぶあまりに学をふりつき歩くのではなく友人や後輩を下宿に集め大いに議論をしました酒を飲むというような、どちらかといえば豪快な人物である。

その意味から新聞記者を将来の目標にし、卒業時三大紙を受験したが学科試験には全部パスし最後の体検査で苦杯をなめたそこで彼は方向転換し官易会社に就職したが病気のため惜しくも活人。

彼は正義感の強い人物である。

豪快に遊び、またよく勉強した人である。遊ぶあまりに学をふりつき歩くのではなく友人や後輩を下宿に集め大いに議論をしました酒を飲むというような、どちらかといえば豪風

彼は暇さえあれば本を読んでいた。彼の友人が三浦君の一日の生活を「本を読んでいるか碁を打っているか酒を飲んでいる」と評したことがある。

彼は正義感の強い人物である。

四十才に全快し郷里の男鹿半島にある男鹿ユースホステルのペアレントに就任。この時点から青少年指導の道に入ったのである。

彼の友愛との関係は古く、尾施殷の故修等の方針を次々に打

年協会の改革に際し尾形事務局長（本会幹事長）の懇請で軽井沢友愛山荘の管理主事に就任。

軽井沢山荘では経営の改善、

出し実行に当り大きな成果を収めている。人に彼は無口であるが誠心誠愛でまた接し、物事に当るにあたり多くの先輩同僚からは好感を持たれ、後輩からは慕われ、軽井沢友愛山荘は彼のファンといっぱいである。

また先にも書いたが彼は勉強家である。多忙な山荘管理のあいまをぬっては読書にはげんでいる。現在には友愛内における理論家の一人として学生部の研修会、指導者講習会等において講師として活躍している。

現在学生対策部長、三十二歳家庭は彼子夫人、慎太郎君、むの三人家族。

× ×
× ×